

令和2年度 幼児教育アドバイザー育成研修 実施要項

- 1 目的 園所や市町村の中核となって研修を実施するためのファシリテーション能力や、新規採用者等経験の少ない教員への指導助言など、幼児教育の推進に貢献できる専門的資質・能力の向上を目的とする。
- 2 対象者 保育所、幼稚園及び幼保連携型認定こども園等の教職経験3年以上の保育士、幼稚園教諭、保育教諭、並びに府立視覚支援学校・聴覚支援学校の幼稚部の教諭
(園長等の受講可)

募集人数 250名

3 研修内容等

回	日時	研修内容	実施会場
1	5月18日(月) 14:00~17:00	幼児教育の現状と課題 〔講話・演習〕	大阪府教育センター
2	6月15日(月) 14:00~17:00	子ども理解と援助・指導の在り方 〔講義・演習〕	大阪府教育センター
3	7月6日(月) 14:00~17:00	「非認知的能力」の重要性とそれを育む援助 カリキュラムマネジメント 〔講義・演習〕	大阪府教育センター
4	8月18日(火) 9:30~12:30	人材育成(メンタリング) 〔講義・演習〕	大阪府教育センター
5	8月18日(火) 14:00~17:00	研修の企画・立案の在り方【理論】 〔講義・演習〕	大阪府教育センター
6	9月9日(水) 14:00~17:00	幼小接続 ー小学校教育の観点からスタートカリキュラムー 〔講義・演習・協議〕	大阪府教育センター
7	10月2日(金) 14:00~17:00	支援教育・人権教育の視点を踏まえた子ども理解と学級経営 〔講義・演習・協議〕	大阪府教育センター
8	11月16日(月) 14:00~17:00	子育て支援、家庭や地域との連携 〔講義・協議〕	大阪府教育センター
9	2月5日(金) 14:00~17:00	研修の企画・立案の在り方【検証】 〔講義・協議〕	大阪府教育センター

- 【留意点】※カテゴリAは、第1、2、3、6、7回
※カテゴリBは、第4、5、8、9回
※受講については、A、B、A+Bを選択し、1年もしくは2年で修了すること。
※Aについては、幼稚園10年経験者研修と合同開催。

4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 担当室 企画室

- 6 その他
- (1) 受付は30分前から
 - (2) 印鑑を持参すること
 - (3) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること
 - (4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと
 - (5) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認しておくこと

令和2年度 研修のシラバス

1 研修名	幼児教育アドバイザー育成研修 <div style="text-align: right;">(研修番号 1389)</div>
2 目的	園所や市町村の中核となって研修を実施するためのファシリテーション能力や、新規採用者等経験の少ない教員への指導助言など、幼児教育の推進に貢献できる専門的資質・能力の向上を目的とする。

3 大阪府教員等育成指標の対象項目

スクールリーダースタANDARD						
	1	2	3	4	5	6
第4期(校長)						
第3期(教頭)						
第2期(首席・指導教諭)	○	○	○	○		○
第1期(リーダー養成期)	○	○	○	○		○

4 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	準備物・事前課題
1	幼児教育の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 国や大阪府の幼児教育の動向や現状と課題について、知見を深めるとともに、幼小接続等の今日的課題について理解を深める。 新しい幼稚園教育要領等の趣旨を生かした子ども主体の保育について考え、自園の課題を発見し、解決に向けて改善し続ける保育実践力を身に付ける。 	
2	子ども理解と援助・指導の在り方	乳幼児の発達等の状況を踏まえつつ、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を見通しながら、この時期にふさわしい援助・指導の在り方について、理解する。	
3	「非認知的能力」の重要性とそれを育む援助	新しい幼稚園教育要領等の趣旨を踏まえ、「非認知的能力」の重要性とそれを育む援助の在り方について、子ども理解とも関連させて理解する。	
	カリキュラムマネジメント	園の目標を実現するための、学級経営計画や指導案の作成・実施・評価・改善の一連の適切な実施について理解を深めるとともに、研修等で指導する際の留意点等について理解する。	
4	人材育成(メンタリング)	メンターとメンティーとの人間関係で繰り広げられる人材育成の手法を学び、OJTの活性化の担い手として活躍できるための理論と手法を理解する。	準備物 研修資料 ⇒ ダウンロード

5	研修の企画・立案の在り方【理論】	市町村や園所内で実施する研修を企画・立案・実施したり、ファシリテーションをしたりする際の方法や必要な能力について、講義・演習を通して理解する。	準備物 実践レポート ⇒ ダウンロード
6	幼小接続 ー小学校教育の観点からスタートカリキュラムー	幼小接続について、小学校教育の観点から、その現状を知り小学校教育における「幼児期の学び」を基礎とした取組みについて理解する。	
7	支援教育・人権教育の視点を踏まえた子ども理解と学級経営	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいについての理解を深め、ユニバーサルデザイン等の効果的な支援の在り方を学ぶとともに、違いを受けとめ、共に豊かに育ちあえる学級経営について理解する。 ・所属園等での実践を踏まえ、情報交換や意見交換を通して自らの成果と課題をまとめ考えを深める。 	
8	子育て支援、家庭や地域との連携	家庭や地域との一層の連携を図るため、保護者との適切なかかわりについて理解を深めるとともに、園所で起こりうる保護者対応や家庭・地域との具体的な連携の方法について考える。	事前課題 レポート ⇒ ダウンロード
9	研修の企画・立案の在り方【検証】	受講者が市町村や園所内で企画・立案・実施したり、ファシリテーションしたりする研修について、その成果や課題を持ち寄り研究協議することで、幼児教育を推進するリーダーとしての自覚を高めるとともに、実施に向けて自らの課題を整理する。	提出物 実践レポート ⇒ ダウンロード